

活動速報はホームページに掲載しています <http://www.garan.ne.jp/ochi>

いばらき国体・実行委員会設立総会(2/28)▶

国体開催に向けた関係者が一堂に会して、東海村実行委員会の設立総会が開催されました。

当日は、東海中・東海南中の生徒によるホッケー部紹介や茨城県代表の選手による決意表明などが行われ、国体開催に向けた気運の醸成を図る活動がスタートしました。



◀シリコンバレーと東海村とを結ぶ遠隔授業(3/25)

アメリカのシリコンバレーと東海村産業・情報プラザとをインターネットでつなぎ、中高生向けの遠隔授業を実施しました。現地で活躍する日本人起業家から、世界を牽引する技術やサービスが次々と誕生するシリコンバレーの魅力や、知識を付けて物事に挑戦する大切さなどを学びました。

今回は試行的な取り組みでしたが、今後も継続した施策へと発展する可能性を感じました。



編集後記

国際化の進展にともない国際舞台で活躍できる人材が求められるなか、文部科学省の集計によると日本から海外に留学する若者の数が減少しているという。様々な要因が指摘されているが、学生たちの「内向き志向」がその要因の一つとして挙げられていた。

3月25日にアイヴィルで開催された「シリコンバレーと東海村を結んだ遠隔授業」では、講師の榎本さんからユーモア溢れる経験談や世界で活躍し得る日本人を現地で育成する大学設立に向けたビジョンなど大人が聞いても興味深い内容であり、とても有意義であった。

参加者の大半が中学生だったが、最前列で目を輝かせながら必死にメモを取っていた小学6年生の男の子がとても印象的だった。

この村で育った子どもたちが、国際舞台で活躍することを願い、次なる展開を期待したい。

(しん)

VOICE

～ リレーで綴る村民の声 ～



杉本 洋平さん
(舟石川駅西在住)

子どもから大人まで幅広く、素晴らしい教育環境があることが東海村の「魅力」だと思います。

2016年8月に東海文化センターで開催されたノーベル物理学賞受賞者の梶田隆章先生等によるニュートリノ研究の講演では研究の奥深さや楽しさを、本年3月にアイヴィルで開催されたシリコンバレー日本大学による遠隔授業ではイノベータ精神を学び、夢を追求する素晴らしさを再認識しました。

皆さんも、ぜひ東海村で積極的に学んでみましょう。

わかば通信

東海村議会議員 越智たつや 議会報告



第37号

平成29年4月発行

発行人：越智たつや後援会

日立市幸町2-13-6

(日立製作所労働組合 日立支部内)

TEL 0294(26)0183

FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。

4月から新しい年度がスタートしました。

東海村には、地域活動やまちづくり分野など様々なかたちで積極的に活動している方々が数多く存在します。

こうした人材の循環や異分野交流を進めながら、新たな担い手を掘り起こし、駅伝のたすきリレーのように次世代へと繋いでいく必要があります。

平成29年度は、「つながり」がより深まる仕掛けの構築に向けて行動していきます。引き続きのご支援・ご協力をお願いします。

越智辰哉



▲ スマイルマラソン2017
駅伝の部にて疾走

NEWS

～ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします ～



東海村の"子育てのしやすさ"をPR

東海村では、本村への愛着を高め、これからは若い世代に居住地として選ばれるまちをめざし、「シティプロモーション」に取り組んでいます。

この活動の一環として、「村の暮らしやすさ」や「子育てのしやすさ」を村内外にPRする冊子(ウェルカムガイド)を作成しました。村内のイベントの来場者に対して村の魅力や自慢したいポイントを聞き取り調査したり、子育てママたちを集めたワークショップなどを開催し、若い世代の心に響くような素敵なガイドブックが完成しました。

この冊子は、4月から公共施設のみならず、近隣自治体の住宅展示場や不動産会社、さらにスーパーやコンビニなどに陳列される予定です。

こうした取り組みが、子育て世代の定住促進につながることを期待しています。



▲ 子育て世代の「浅野さとし」氏も
東海村ウェルカムガイドの完成度を高く評価

村政報告会を開催します



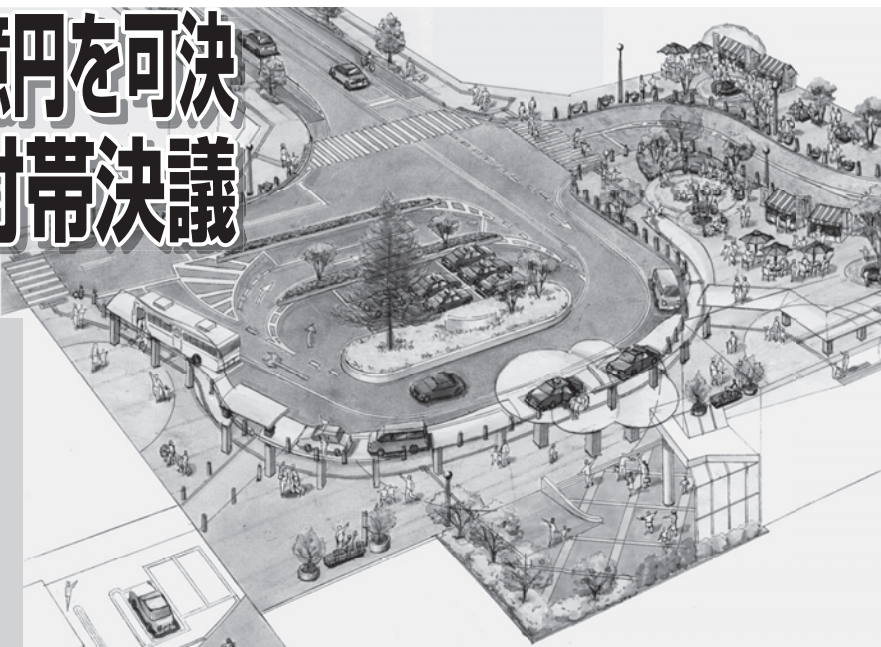
日時：平成29年5月14日(日)10:00～11:00

場所：中丸コミセン会議室

※ どなたでも自由に参加できます。

一般会計189.8億円を可決 交流館建設は付帯決議

平成29年3月定例会を、3月1日から27日までの会期で開きました。
今議会では、平成29年度予算案など全36件の議案について慎重審議し、すべて原案のとおり可決しました。



▲いばらき国体に向けて段階的に整備する
東海駅西口広場の全体イメージ図

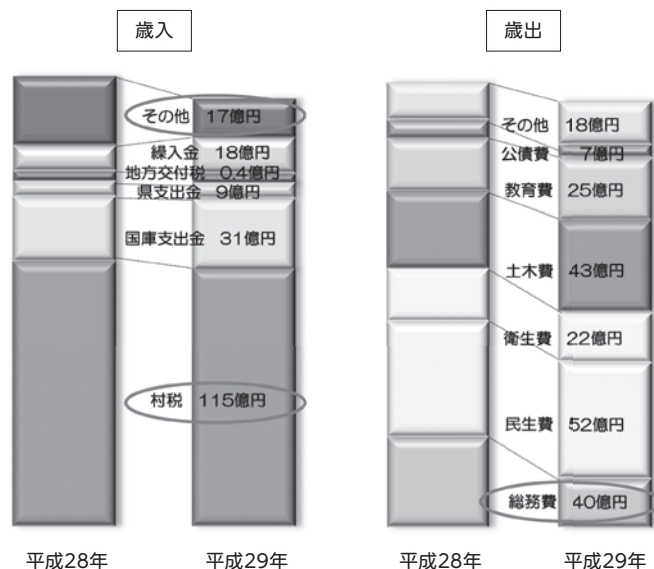
新年度予算の概要

平成29年度一般会計の予算規模は約189.8億円でした。前年度予算には東日本大震災の国からの復興交付金の返還金（約12億円）が含まれており、この特殊な要因を除いた実質予算で比較すると前年度比で約2億円の増額となりました。

村税収入が約4億円減少し、償却資産の経年減価による固定資産税の減額が見込まれますが、「いばらき国体」に向けた東海駅西口広場の再整備など将来に向けた投資事業を引き続き展開する予定です。

持続可能な村政運営を行うためには、事業のスクラップ&ビルドを徹底するとともに、将来への投資をバランス良く遂行する必要があることから、今後も効率的な行政運営について、積極的に提言していきます。

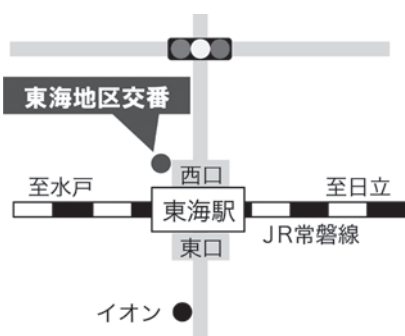
歳入出総額189.8億円(対前年比10億円減)



東海地区交番が駅前に移転

年明けから東海地区交番の移転工事が進められていましたが、無事に竣工を迎え4月からJR東海駅西口に新築移転しました。

交番移転により防犯体制の一層の強化が図られることを期待しています。



～(仮称)歴史と未来の交流館建設～ 予算執行の付帯決議を可決

本議会で可決した平成29年度予算には、(仮称)歴史と未来の交流館建設の実施設計委託料(7,400万円)が計上されています。

この事業については、未だ村執行部から施設完成後の管理運営計画の具体像が示されていないことや、住民からも施設の必要性や建設コスト等を疑問視する意見等が聞かれる状況であることから

- ①住民説明会を引き続き開催するなど、広く村民の理解を得よう努めること
 - ②施設の管理運営計画を取りまとめ、広く村民の理解を得たうえで予算執行すること
- 上記2点を議会として決議し、村執行部に申し入れました。



▲交流館全体のイメージ図

これに注目！

平成29年度の 新規・重点事業

● プレミアム付き商品券発行(2,300万円)



地域経済の活性化のため、20%のプレミアム付商品券(総額1.2億円分)を発行します。

● 阿漕ヶ浦公園改修工事(2億円)



ホッケー場の夜間照明設備の新設(8基)およびそれに付随する変電設備を整備します。

● 病児・病後児保育施設整備(24万円)



村立東海病院の敷地内に病児保育施設の整備に向けた計画策定に着手します。
(H30年建築工事
H31年～供用開始予定)

● 雨水管理総合計画策定(1,290万円)



集中豪雨により多発する浸水被害への対応を図るため、下水道による浸水対策を実施すべき区域を明確化し、効率的に総合的な対策を行うための計画を策定します。

● 久慈川河川敷運動場整備(500万円)



河川敷運動場のソフトボール場の面数を減らし、公式試合が実施可能なサイズで再整備しながら、多目的利用可能なスポーツ広場を整備するための計画を策定します。

● 三世代同居・近居支援(330万円)



若者の定住促進と世代間の支え合いをサポートするため三世代同居・近居を対象として住宅取得(20万円)やリフォーム費用(15万円)を助成します。